

柏原市放課後子ども教室(のびのびルーム) 令和5年度の目標と達成状況

柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では、持続可能な教室運営と事業の活性化のため目標を設定し、次年度以降の事業運営に活かせるように、その達成度について評価・分析を行っています。

達成度について

- A目標を大きく上回っている。 B目標を上回っている。
C目標を達成している。 D目標を下回っている。
E目標を大きく下回っている。

目標① 事業について、各教室スタッフの理解を深め、事業についての活性化を図る。

コロナ禍により約2年間、放課後子ども教室の活動が縮小(中止)となり、各教室で「活動の継続性の分断」により、事業についての理解の低下が見られるという声があがりました。(スタッフ交流会アンケートより)
そこで、年度当初に「事業説明会」を実施し、各教室スタッフに事業への理解を深めていただくとともに、交流会等で市内9教室の情報交換等を行い、事業についての活性化を図ることにしました。

達成度

C

事業への理解が深まり、各教室の活動が活性化された。

年度当初に「事業説明会」を実施し、事業への理解を深めていただくことができました。また、年間2回交流会(研修会)を実施し、事業の活性化を図りました。
結果、令和5年度は市内10教室合計で、年間実施回数139回(前年度比+16回)、参加児童数は2961人(前年度比+533人)となり、事業の活性化がなされました。

目標② 「活動のマンネリ化」「スタッフの人材不足」解消のための取組みを実施する。

コロナ禍により約2年間、放課後子ども教室の活動が縮小(中止)となり、各教室で「活動内容のマンネリ化」「スタッフの人材不足」が表面化してきていることがわかりました。(スタッフ交流会アンケートより)

そこで、市独自の出張ボランティアプログラム(専門団体の講師派遣)を立ち上げ「活動の多様化」と「スタッフ確保」を図ることとしました。また、市内各教室の取組みを通信(のびのびだより)にまとめ、メールで関係者に定期配信することとしました。



達成度

B

「出張ボランティアプログラム」や「のびのびだより」などにより、課題が改善された。

昨年度と比較し、今年度新たに実施された新規活動が市内全教室で22種類見られました。中でも、各教室の取組みを取材し発信する「のびのびだより」で紹介した内容を活用した新規活動が6種類あり、本事業の活性化につながりました。

令和5年度のボランティアスタッフの総数は717人(のべ)で、昨年度の509人を208人上回っています。多くの地域の方が、本事業に参画して下さっているのがわかります。

令和6年度に向けて

今年度の成果と課題を踏まえた上で、柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では「市貸出用品(ニュースポーツ)の充実と周知」「専門知識技能や経験を持った方を講師として招く出張ボランティアプログラムの拡充」「スタッフ不足を補うための学生ボランティアの活用」を進め、さらなる事業の活性化を促していきたいと考えています。